

報 告 書

開催日時	令和 3年 11月 9日 15時 00分 ~ 16時 15分		
自治協議会名	東部地域住民自治協議会	開催場所	上野東部地区市民センター
出席議員	釜井敏行 川上善幸 西口和成 山下典子 田中 覚 (班外議員) 森中秀哲 北森 徹		
	班 長	山下典子	記録・報告者 釜井敏行
参加人数	22 名		

【主な意見・提言等】

<災害に強い街づくり>

- ・災害時の避難所運営はパニックになるのでは。避難所運営は市がやってくれると考えている人が75%になっている。避難所運営のあり方をどのように考えているか。
- ・カーポート下での避難や、黄色いハンカチの活用を進めていきたい。
- ・ボランティアの宿泊施設の確保も必要。
- ・障がい者(酸素吸入、透析など)の避難をどのようにするのか。

→避難所の運営に女性が関わるのが大事。男女共同参画の視点が必要。

→コーディネーターを適切に配置し、社協・市職員に加え自治協の力をつけることが大事

→マニュアルづくり、地震に強い住宅づくりのための助成が必要。

→自分の命は自分で守るという意識を持ってもらう。避難所などもしっかり周知する。

→避難所に来る人を減らすことが大事。そのためにも食料の備蓄の必要性を周知する。

→障がい者の避難は福祉避難所を利用してもらう。要援護者名簿のチェックが必要。

<交通安全について>

- ・事故が起こってからではなく、先手で道路を整備して欲しい。
- ・自転車損害賠償保険が条例で義務化されたが、市の対応は？
- ・交通安全のための予算を抜本的に組み替えてほしい。

→交通安全プログラムに基づき優先順位をつけて対応している。予算が課題なのでまずはふるさと応援基金の活用を検討したい。

→今ある条例や交通安全プログラムをブラッシュアップしていくことが大事。

→市に仕事をしてもらおうルールづくりのため、公平性の確保のため、新たな条例が必要。

→全議員の賛成で決議をあげた。今後政策討論会も開催し、事故を未然に防ぐ取り組みをすすめていく。

→市の交通安全に対する考えを変えていかなければならない。道幅を広げることは故困難なので一方通行や通行止めの組み合わせを考える。

<中心市街地の活性化について>

- ・中心市街地で店舗の撤退が続いている。旧市役所の利活用も含めどのように取り組むか。

- ・土日祝日は銀座通りを一方通行にして片方を駐車場にするのはどうか。
 - ・市街地活性化のために、安全のために空き家対策に力を入れて欲しい。
- 地域の購買力が落ちているので、地域の経済力戻すため人口増が必要。そのためにも下水道の整備が必要。合併浄化槽にするための補助金を出す方針。旧庁舎が進まないのは議会の怠慢だと思う。
- ふれあいプラザの入札も終わったので、活性化につながると期待している。
- 若い人々が住みやすい町にしていくことが活性化につながる。
- 空き家対策室で取り組んでいるが、私有財産でもあるので国の制度の見直しを提言していく。
- 特定空き家の指定が可能かどうか問い合わせ、報告する。

伊賀市議会議長 様

令和3年12月6日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和3年度地域意見交換会 4 班

班長 山下典子
